



# Little Diamonds

## YOUTH

### JFA プリンスリーグU - 18 関東2009

# 鹿島ユースに逆転勝ち、初戦を白星でスタート!

JFA プリンスリーグU - 18 関東2009は4月5日(日)に開幕したが、第30回ダラスカップ(4面に詳報)に出場していた浦和レッズユースは第1節、第2節の日程が後になり、第3節が初戦となった。

4月19日(日)、NACK5スタジアム大宮で鹿島アントラーズユースと対戦したレッズユースは、立ち上がり良いリズムでボールが回り、相手陣内に攻め入る中、ペナルティエリア付近でFKを連続して得るなどチャンスを作ったが生かせず、逆に前半37分、先制される。後半は相手に先手を取られ自陣でのプレーが多くなる苦しい展開が続いたが、17分に相手FWが2回目の警告で退場になるとその3分後、鈴木大輝のクロスに喜本啓太が頭で合わせ同点に追いついた。一転、攻勢を仕掛けるうち、27分に若井祥吾のシュートを手でブロックした相手DFが、これも2回目の警告で退場。攻撃の枚数を増やして落ちていてボールを回すレッズは完全にペースを握り、35分、鈴木大輝のクロスから相手GKのキャッチミスでこぼれたところを、詰めていた岡田昌巳がすかさず頭で押し込み逆転に成功する。

その後は数的優位を生かして追加点を狙いながらキープを続け、そのまま2 - 1で勝利した。



プリンスリーグ初戦で鹿島ユースに逆転勝ちしたレッズユース(419 / 鹿島ユース戦)

前半16分、左サイドを突破する利根川が倒されFKとなる(419 / 鹿島ユース戦)



後半24分、若井がシュートを放つ(419 / 鹿島ユース戦)

後半35分、逆転ゴールを決めた岡田(右から2人目)にチームメイトが駆け寄る(419 / 鹿島ユース戦)

左サイドバックの鈴木はクロスで後半の2点に絡んだ(419 / 鹿島ユース戦)

JFA プリンスリーグU - 18 関東2009	
第3節	
2009.4.19(日) 11:00	
浦和レッズユース	2 前0 後2 VS 前1 後0 鹿島アントラーズユース
GK	小笠原正人
DF	畑本時央(森田健介 / 37分) 岡本拓也 広瀬健太(矢島倫太郎 / 77分) 鈴木大輝
MF	池西 希 岡田昌巳 石沢哲也
FW	利根川良太(若井祥吾 / 60分) 喜本啓太(矢島慎也 / 84分) 磯部裕基(大里康朗 / 89分)
得点者	喜本(66分) 岡田(80分)



後半20分、喜本がヘディングシュートを決め同点に追いつく(419 / 鹿島ユース戦)

## 最後まで自分の可能性信じて

..... 矢作典史  
(アカデミーセンター長)



レッズらしく攻撃的に、人もボールも動いて、コンビネーションで良いサッカーを毎試合やってほしいと思います。また試合に出ていない選手も良い準備をしていくようにしてください。そして見る人が楽しく感じるようなサッカーをしていきましょう。

チームとしてはプロを目指していくということ前提にやっていきますが、選手たちもそれぞれ目標を持って取り組んでください。中途半端な気持ちでできることはありません。私たちも選手たちをよく見て、成長のバックアップをしていきますので、自分の可能性を信じて最後までやってもらいたいと思います。

レッズのトップチームで活躍するユース出身選手の比重が大きくなってきました。それが地域に根ざしたクラブチームの本来のあり方だと思いますし、これからもそれが続いていくように私たちも努力していきます。

## プロという目標に向かって

..... 堀 孝史  
(ユース監督)



一人ひとりが成長するように、またチームが勝てるように努力していきます。昨年とほぼ同じスタッフが臨みますので、より充実した指導ができるようになると思います。

新しくユースに入った選手のうち、レッズのジュニアユースから上がった選手たちは、同じレッズのアカデミーセンターの中とはいっても、中学3年生から高校1年生になるというのはいろいろとストレスもあるかもしれませんが、何が一番大切なかを考えてやってください。またレッズ以外のチームから来た選手は、優れた部分、レッズに必要な部分があるからここにきていると思いますので、それを大事にしてほしいと思います。

プロになりたいという目標を誰もが持っていると思いますので、みんなそこに向かって頑張ってください。

## サッカーを追究してください

..... 岩瀬 健  
(ユースコーチ)



僕の役割としては去年と変わらず、堀監督のサポートをしていきます。

選手たちにはサッカーを追究してほしいと思っています。選手たちが少しでもレベルアップできるように手助けをしていきたいと思っています。

新しくレッズに来た選手たちは、良くも悪くもまだレッズというものを知らないというのは、ある意味では良いことでもあるので、自分の良い部分を残したまま、早く環境に慣れて、サッカーを追究してほしいと思います。

## お互いの意思を合わせて

..... 天野賢一  
(ユースコーチ)



今年は、去年に比べて突出した選手がいない分、攻守ともチームとしてよりイメージを共有していかなければいけないですが、そういう意味では真面目で献身的な選手が今年は多いので、お互いの意思を合わせながらサッカーをしていくことが大事だし、そういうことを練習に組み込んでいくのが僕たちの役割だと思います。

ここに来ている選手たちは、必ず何かストロングポイントを持ち合わせていると思いますから、それをより強力にしていくことと、チームとして他の選手との関わりの中でプレーすることを身につけていくことが大事です。

僕の役割は、現在試合に関わっていない、もしくはこれから試合に関わっていく選手たちを向上させることだと思います。まずしっかりした目標を選手たちと共有して、そのためにやるべきことを整理して日々努力していくことになります。

## 個人がしっかり成長する中で

..... 井嶋正樹  
(ユースGKコーチ)



ジュニアユース専任GKコーチに安藤さんがついてくれることになったので、今年からはユースを専属に担当します。GKの部分を中心にやりながら、サッカー以外の、人としての教育の部分などにも目を配って、チームに関わっていきたくと思っています。

去年のように突出したタレントを持つ選手はいないので、個人個人がしっかり成長する中で次の目標に近づく手助けをできればと思っています。昨年の高宮杯優勝というのは、選手たちにとってプレッシャーだと思いますが、技術面プラス内面もサポートしていきながら良い結果を最終的に獲ればと思います。

高校1年生は、今までとカテゴリーや環境が変わります。環境に慣れることができず、自分の良さをなかなか出せない選手もいますので、これがレッズのユースチームだということを早く理解、吸収してもらって、自分が一番武器とするサッカーに打ち込んでもらいたいと思います。

## 心や身体の強さも必要になる

..... 藤家 薫  
(ユース アスレティック・トレーナー)



僕の役割は、まず去年から続いているケガ人を早期復帰させること。そして、ケガ人を少なくするために池田フィジカルコーチと協力していきたいと思っています。

選手たちにはお願いしたいのは、ただ痛いだけではなく、こういう状況でどういうケガをして、いまだどういふふうに痛いか、それをきちんと僕たちに伝

えてくれること。それが復帰への早道でもありません。これはプロでも非常に大事なことです。コースのサッカーはうまいだけではなく、心の強さや身体の強さも必要になってきます。そこも意識して頑張ってください。

## あせらず成長できる環境作る

..... 名取 篤  
(ジュニアユース監督)



今年からコーチが増え、U-15、U-14、U-13にそれぞれ担当コーチがいて、学年ごとに活動することが増えるだけに、コーチ間のコミュニケーションをより密にしていきます。見る目が多いということは、それだけ細かいところまで見えてくるということです。選手の力によっては中学2年生でもU-15に、中学3年生でもU-16(ユース)のチームに入っていくと思います。

新しく入って来た選手たちは、僕も非常に楽しみですが、あせらないようにしてください。急にプロになれるわけではありません。まず1日1日を楽しんでサッカーをする中で、成長していけるような環境を我々が作っていきたくと思っています。

## 入ることが目的ではないはず

..... 淀川知治  
(ジュニアユースコーチ)



私は特に担当の年代はなく、全体をサポートしていきます。

中学1年生の選手たちに対しては、レッズのジュニアユースに入ることが目的ではなかったはずですから、まずは続けていくことをお願いします。

## 人間として大事なことを伝える

..... 池田伸康  
(ジュニアユースコーチ)



今年も変わらずに選手たちと接して、サッカーだけではなく人間として大事なことを伝えていければと思います。僕はU-14を担当しますが、レッズのジュニアユースは、優勝するとか、勝つことが目的でやっているわけではなく、将来のプロ選手を育てることが目的です。



プリンスリーグ初戦を終えたユースチームを激励に訪れた原口元氣(419 / NACK5大宮)

# 頑張りましょう ~ レッズユース・ジュニアユース育成スタッフからのメッセージ

試合に出られなかった選手は気持ちが落ちることもありますが、大事な今は今ではないんだということを伝えていき、みんなにサッカーを楽しんでもらいたいです。

はっきりした身近な目標と、将来の目標を常に持ってやってください。

## 一人ひとりの変化を把握する

..... 土橋正樹 (ジュニアユースコーチ)



U - 15 担当コーチになりました土橋です。名取監督のサポートをしながら、中学3年生全員を見て選手たちをサポートしていきたいと思ひます。伸び盛りの選手たちなので良いときも悪いときもあると思ひますが、一人ひとりの

コンディションや変化をしっかり把握していくつもりです。

新しく入ってきた1年生の選手たちは、レッズの一員となったことに誇りを持って、私生活や、練習への取り組み方などもきちんとして欲しいと思ひます。

## 大人のサッカーのベース作る

..... 渡辺隆正 (ジュニアユースコーチ)



今年からU - 13 を担当します渡辺隆正です。

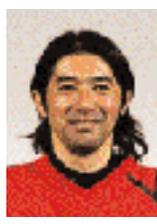
サッカーの技術向上はもちろんですが、人間として当たり前のことを当たり前のようになれる選手を育成できればと思ひます。たとえば挨拶の部分とか、そういう人として、これから大人のサッカーをやる上でベースとなるような部分をしっかり教えていきたいです。

ボールの大きさやコート、ゴールの大きさが変わるということについては、慣れれば問題はありません。今までできたことができないとか、悩む必要はなく、あわてないでやっていけば大丈夫です。

選手たちから言うて来ることにしてはしっかりと向き合っ、わからないことは一緒に考えていきます。こうしろ、ああしろと言うことは絶対になく、選手たちがいろいろと考える引き出しを増やしていけるようなアドバイスをしていければと思ひます。

## 誘惑に負けず育ってほしい

..... 安藤智安 (ジュニアユースGKコーチ)



昨年までハートフルクラブのコーチをしていた安藤智安です。今年からジュニアユースのGKコーチになりました。よろしくお願ひします。中学1年生は、ボールもコートもゴールも全部大きくなるので、まずはそれに慣れるようにして、だんだん大人のサッカーにしていきたいと思います。

レッズには非常に高いレベルの選手たちが集

まっているので、いろいろな誘惑に負けないようにして、良い選手に育ってくれたら、と思ひます。

## 横からの目線で選手と接する

..... 安齋健太郎 (ジュニアユースアスレティック・トレーナー)



ジュニアユースという成長期の、身体の変化が激しい年代の選手に、いかにケガなくサッカーをさせられるか、というのが自分の主な仕事だと思ひます。その中で、今まで使えないところが使えるようになったら、選手たちが

自分の変化に少しでも気づけるように、うまく導いていければいいな、と思ひます。そのあと、ユース、トップと成長していくのを見るのが楽しみです。

中学1年生の選手たちは、これまでのチームの中では一番だったと思ひます。しかし、ここではその一番の選手たちが集まっているので、非常に気の抜けない日々が続く中で高いパフォーマンスを見せなければならないという、精神的にも体力的にも最初は大変だったと思ひますが、そういうこともしっかり見てケアしていきたいと思ひます。

選手たちを見る目はできるだけ上からではなく、斜め上、もしくは横からにして、コミュニケーションを密にしているんな関係が築けていければいいと思ひます。

## 食事と睡眠、自己管理して

..... 池田誠剛 (フィジカルコーチ)



僕の役割は、ユースとジュニアユースの選手たちの、コンディショニングとフィジカルの向上です。育成年代はまだまだ伸びる時期で、可能性を常に追い求めて少しでも上のレベルで活躍できるようにサポートしたいと思ひていま

す。ただし我々が選手たちと接するのは1日に2時間程度ですから、自己管理にすべてがかかっています。それを自覚して、自分で目標に向かって努力してください。それができれば試合にも出て行くことになり、各カテゴリーの代表にもつながり、ひいてはレッズのトップチームでプレーすることにもつながります。

食事、練習、睡眠・休養が三本柱と言われていますが、特に食事と睡眠は自己の管理にかかっています。よく食べてよく寝るということですし、食べてよいもの、よくないものがあるので、それを判断する能力をつけることも大事です。また朝食を摂ることは大事ですが、できれ

ばまず軽く運動をして身体を目覚めさせ、自律神経を副交感神経から交感神経に替えてから食べた方が身体には良いです。そういうこともやっていると、なかなか上には行けないと思ひます。ケガをしない身体を作るためにも食事と睡眠が大事です。

体調について無理に我慢すると、自分だけで悩むのではなく、何か質問があればすぐに私たちに言っ来てほしいと思ひます。それに対するアドバイスができる経験は僕たちに備わっています。そこで手遅れになるのは一番もったいないことです。また避けられることのできるケガはゼロに近づけなければなりません。練習に自転車で通うことが多くなりますが、行きも帰りも事故のないように時間の余裕を持って出発してほしいと思ひます。

## エンブレムに誇りを持って

..... 児玉賢太郎 (アカデミーセンター総務)



僕はアカデミーセンターの総務を担当します。コーチやトレーナーとは違う立場で関わっていきます。具体的には試合や遠征のマネジメント、選手たちの保護者や学校との連絡などですが、自分自身も指導者の1人だと思っ

ています。サッカーの技術の指導ではなく、それ以外の、生活も含めたところで、選手たちが浦和レッズの選手としてしっかり成長していくためのサポートをしていきます。ですからコミュニケーションをどんどん図っていきます。

中学1年生は、先輩たちをしっかり見て、浦和レッズの選手としてやるべきことをやってください。自分自身をしっかり持って、トップチームでプレーすることを目標に練習に取り組んでください。

すべての選手に言えることですが、誰もがレッズのエンブレムをつけてプレーできるわけではないので誇りと責任を持って、生活にも練習にも、あきらめずに全力で取り組むことを意識して頑張りてください。



関東ユース(U - 15)リーグ初戦に臨むジュニアユースチーム(419 / レッズランド)

## ユース出身者の活躍、続いていくでしょう

..... フォルカー・フィンケ (浦和レッドダイヤモンドズ監督)



トップチームでは、今年入ったばかりの山田直輝や原口元気が実際に試合に出ています。ユース出身選手がトップで活躍する傾向はこれからも続いていくと思ひます。ですから、ユース、ジュニアユースのみならず、そこを目標にして、日々頑張りてください。

# 関東ユース(U-15)サッカーリーグ

## 後半3得点でFC東京深川に大勝、好発進!

2009年度関東ユース(U-15)サッカーリーグが4月19日(日)開幕。浦和レッズジュニアユースは13時から東京ガス深川グラウンドでFC東京U-15深川と開幕戦を行った。

前半38分に繁田秀斗が先制するが、その1分後に追いつかれる展開。しかし1-1で迎えた後半、18分に関根貴大が勝ち越し点を決めると、33分に西袋裕太が、36分に途中出場の進昂平がゴールを挙げ、4-1の大勝で初戦を飾った。

後半18分、関根が勝ち越しゴールを挙げる  
(419 / FC東京U-15 深川戦)



FC東京U-15 深川に大勝で関東U-15リーグの初戦を飾った浦和レッズジュニアユース  
(419 / 東京ガス深川グラウンド)



カドコダイ アシカンがハイボールを競り合う  
(419 / FC東京U-15 深川戦)



キープしながらチャンスをつかかう西澤 (419 / FC東京U-15 深川戦)

繁田は前半先制点を挙げた (419 / FC東京U-15 深川戦)



後半38分、西袋がゴールを決め相手を突き放す  
(419 / FC東京U-15 深川戦)



関東ユース(U-15)サッカーリーグ 第1節

2009.4.19(日)13:00 / レッズランド

浦和レッズジュニアユース 4 前1 後3 VS 前1 後0 FC東京U-15 深川

GK	細田龍太
DF	新井純平 河野 翔 西澤秀平 佐藤大介
MF	西袋裕太 繁田秀斗 関根貴大 (進 昂平 / 70分) 立野峻平 (小峯洋介 / 55分)
FW	カドコダイ アシカン 中村駿介 (相馬 慎 / 66分)
得点者	繁田(8分)、関根(68分)、西袋(73分)、進(76分) * 40分ハーフ

中村がドリブルで相手陣内に攻め込む  
(419 / FC東京U-15 深川戦)

# YOUTH

## 第30回ダラスカップに参加

浦和レッズユースは4月5日(日)から12日(日)まで、アメリカのテキサス州ダラスで開かれた第30回ダラスカップに出場した。スーパーリーグ(U-19)に出場したレッズユースは、4チームによるグループリーグで1勝2敗。平均年齢で1歳半上のチームを相手に貴重な経験を積んだが、準決勝進出はならなかった。



第30回ダラスカップ 開会式

### 【試合結果】

#### グループリーグ

##### 第1戦

1 6 アイントラハト フランクフルト (ドイツ)  
得点者: 岡田昌巳

##### 第2戦

0 1 サンパウロFC (ブラジル)

##### 第3戦

3 1 ダラス・テキサンス・レッド (アメリカ)  
得点者: 池西希、利根川良太、石沢哲也



初めてアメリカ遠征を行ったレッズユース

#### 親善試合

5 1 コメッツ(カナダ)

得点者: 鈴木大輝2、磯部裕基、菅本啓太、岡田昌巳

1 2 リバープレート(アルゼンチン)

得点者: 岡田昌巳